まきばでひとやすみ

今年度、地域の中で子ども達の安全を見守ったりするPTAの役員になりまして、4月の新学期スタートしてすぐ、登校する子ども達を道に立って見守りをしました。まだ少し肌寒い春の朝ながらも陽差しと風が心地良く、葉桜が散る中で、あいさつしながら見送るのはとても気持ち良いものでした。そしてまだ小さな新1年生の子ども達が大きなランドセルや手さげを一生懸命持って歩く様子、少し大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんに手をつないでもらって歩く様子は初々しく心がキュンとなる風景でありました。そこは中学校もすぐそばなので、中学生も大勢通ります。制服がまだダボッとしてる子らは「ああ、1年生だな」とすぐわかり微笑ましかったり。そしてどの子も皆「おはようございます!」とあいさつするときちんと返してくれるので、当たり前のこととはいえとても嬉しかったです。顔も知ってる子も多く「まあ、こんなに大きくなって…」という老婆心が何度もヒョコヒョコ。近所の公園で我が息子相手にはしゃいで一緒に遊んでいた小柄な男の子が中学3年生になっていて顔立ちも背丈もシュッとしていた姿にはびっくりしつつ、子どもから大人へと成長していく、境目というか、グラデーションの時期にいるのだなあ…としみじみ感じたり。教会学校でも、先日久しぶりにオンラインではなく顔を合わせて公園でイースター礼拝を行った時、既に教会学校を卒業したお兄さんお姉さん達が沢山奉仕してくれたのですが「こんなに優しく頼もしく育ってくれて…!!」と感動しまくりでした。背丈だけでなく、心もちゃんと成長している様子を目の当たりにし、まだ小さな子ども達も、こんな風に優しく強く大きくなっていけるように、何より神の家族の愛に包まれて成長できますようにと祈らずにはいられませんでした。そんな訳で今年は地域でも教会でもより一層愛をもって子どもらに仕えたい!と思った春なのでした。

ロバ子 月岡 ♡♡♡